

# 第3回地方創生SDGs金融表彰 オンライン説明会



2023年7月13日

# 本日のご説明事項

## 地方創生SDGs金融表彰の趣旨・目的

地方創生SDGs金融表彰の選考方法

金融表彰の受賞取組事例紹介

地方創生SDGs金融表彰のF A Q

# 「地方創生SDGs金融」の政府における位置づけ

2015年9月

国連サミット

- 「持続可能な開発目標 (SDGs)」採択

2016年5月

第1回SDGs推進本部会合

- **SDGs推進本部設置**  
(総理を本部長、官房長官・外務大臣を副本部長、全閣僚を構成員)

2016年12月

第2回SDGs推進本部会合

- 『SDGs実施指針』策定

①日本の「SDGsモデル」三本柱の1つとして  
「SDGsを原動力とした地方創生」を明記

2019年9月

**SDGサミット2019** 於 国連本部

首脳レベルで過去4年間のSDGsの取組をフォローアップ  
安倍元総理は、民間企業の取組や**地方創生の取組**など  
国内外における取組を加速させる決意を表明

2019年12月

第8回SDGs推進本部会合

- 『SDGs実施指針』改定

②地方創生SDGsに取り組む地域事業者を「見える化」  
する**地方創生SDGs登録・認証等制度**の展開

2023年3月

第13回SDGs推進本部会合

- 『SDGsアクションプラン2023』決定

③「**地方創生SDGs金融**」を通じた自律的好循環の  
形成を図ることを明記

**2030年までにSDGsを達成**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

# 地方創生SDGs金融を通じた自律的好循環の形成

- ▶ 「地方創生SDGs金融」とは、地域におけるSDGsの達成や地域課題の解決に取り組む**地域事業者**を**金融面（投融資だけでなくコンサルティング等のサービス支援も含む）から支援**することによって、**地域における資金の還流と再投資（「自律的好循環」**の形成）を促進する施策である。
- ▶ SDGs達成に取り組む地域事業者の「見える化」を目的とし、地方公共団体等を対象に2020年10月に『**地方創生SDGs登録認証等制度ガイドライン**』を策定。
- ▶ 2021年11月には、持続可能なまちづくりの実現に向けて、地方公共団体と地域金融機関等が連携して地域課題の解決やSDGsの達成に取り組む地域事業者を支援する取組を促進する観点から、**内閣府特命担当大臣（地方創生）**が表彰する「**地方創生SDGs金融表彰**」を創設。



## フェーズ1 地域事業者のSDGs達成に向けた取組の見える化

- 「登録・認証制度」を構築し、地域事業者等のSDGs達成に向けた取組の見える化
- 幅広い地域事業者の参画を促し、SDGs達成に取り組む主体のすそ野を拡大

## フェーズ2 SDGsを通じた地域金融機関と地域事業者の連携促進

- 地域金融機関がモニタリング、フォローアップを実施し、与信先企業の育成・成長に貢献
- モニタリングを通じて得られた知見で自らの目利き力やコンサルティング能力等の強化

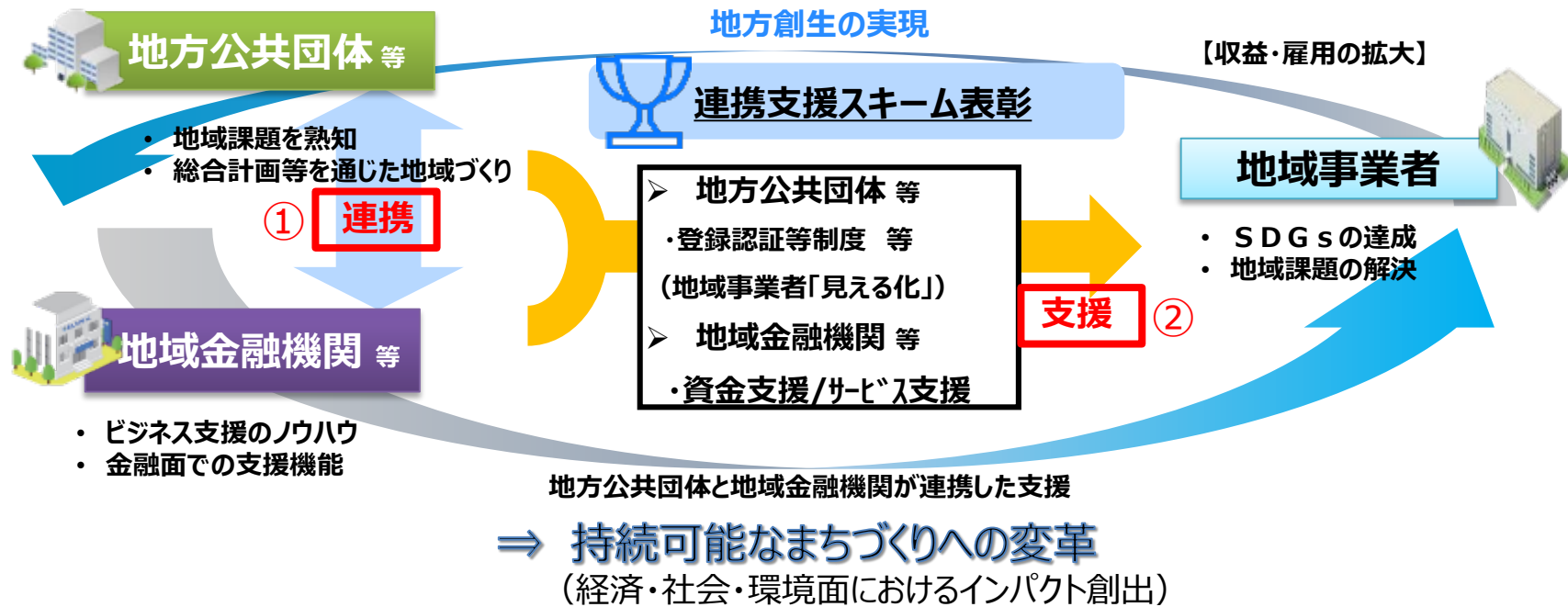
## フェーズ3 SDGsを通じた地域金融機関等と機関投資家・大手銀行・証券会社等の連携促進

- フェーズ2の実践を通じて、**地方公共団体と地域金融機関の連携した支援スキームを政府が表彰する制度を創設**
- 機関投資家等と地域金融機関の協調・協業を推進

# 地方創生SDGs金融表彰の概要

- ・「**地方創生SDGs金融表彰**」とは、持続可能なまちづくりの実現に向けて、**地方公共団体と地域金融機関等が連携して**、地域課題の解決やSDGsの達成に取り組む**地域事業者を支援する取組を促進するために実施**される内閣府特命担当大臣（地方創生）による表彰取組。
- ・「**地方創生SDGs金融を通じた自律的好循環の形成**」に資する先進的なベストプラクティスを表彰、公表することで、更なる実効性の高い支援スキームの普及展開を目的とする。

## 地方創生SDGs金融表彰のスキーム



### 第3回地方創生SDGs金融表彰スケジュール

- ① 公募期間：2023年7月11日～8月25日
- ② 1次選考：2023年9月中旬
- ③ 2次選考：2023年10月中旬
- ④ 表彰式：2023年11月下旬

# 地方創生SDGs登録・認証等制度ガイドラインの概要

- 2020年10月に、地方創生SDGs金融調査・検討会（座長：村上周三 一般財団法人建築環境・省エネルギー機構理事長）において、地方創生SDGsに積極的に取り組む事業者等を「見える化」する仕組みづくりを支援するための「地方公共団体のための地方創生SDGs登録・認証等制度ガイドライン」を取りまとめ、公表した。
- 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」のKPI（地方創生SDGs金融に取り組む地方公共団体：**100団体**（2020年から2024年度累計））の達成等に向けて、取組の普及展開を行う。

## ガイドラインの目的等

- SDGsを通じた地域課題等の解決に関する取組・事業によって得られた収益が、地域に還流・再投資される「**自律的好循環**」を形成するために、**地方創生SDGsに積極的に取り組む地域事業者等を「見える化」**する制度の構築を促すもの
- 地方公共団体**が中心となって、地域金融機関等の地域の様々なステークホルダーと連携しながら**制度を構築・運営するための支援ツール**

## ガイドラインの特徴・ねらい

制度の段階等に応じた**3つの制度モデル**を提示し、それぞれの制度モデルについて、**制度構築に当たってのプロセス及び設定が想定される要件等**を例示



地方公共団体は制度モデル等を参考に、**制度の構築段階から地域金融機関等の様々なステークホルダーと連携し**、制度内容等を検討



## 3つの制度モデル

宣言

登録

認証

以下項目等を、それぞれの制度モデルごとに例示

- 制度の目的
- 制度によるメリット
  - ・地域金融機関等からの支援
  - ・地方公共団体からの支援
  - ・地域事業者等の事業等運営上のメリット
- 制度構築のプロセス
- 登録・認証等に当たって必要となる要件

# 本日のご説明事項

地方創生SDGs金融表彰の趣旨・目的

**地方創生SDGs金融表彰の選考方法**

金融表彰の受賞取組事例紹介

地方創生SDGs金融表彰の F A Q

表彰目的	持続可能なまちづくりの実現に向けて、 <b>地方公共団体等と地域金融機関等</b> がSDGsを原動力とした地方創生に取り組む <b>地域事業者を支援</b> することにより、地域における資金の還流と再投資を生み出す「 <b>地方創生SDGs金融を通じた自律的好循環の形成</b> 」に資する取組を普及推進することを目的とする。
表彰対象	地方創生SDGs金融を通じた自律的好循環の形成に資する支援スキームを構築した、 <b>地方公共団体等及び地域金融機関等</b> とする。 <b>(連名応募のみ)</b>
表彰者	内閣府特命担当大臣（地方創生）が行う。
表彰時期	年1回行う。
表彰数	最大5件とする。
選考委員会	選考委員会の委員は、地方創生推進室長が委嘱する者とする。
評価項目	以下の評価項目ごとに評価し、総合的に、特に顕著な功績があったと認められる取組を表彰する。 <b>汎用性（モデル性）、官民協働、実効性、持続性、透明性、独自性、成果、影響</b>



項目名	概要	必須/加点
汎用性 (モデル性)	事例・スキーム等が具体的に明記され、 <b>他の地方公共団体等および地域金融機関等で参考事例となり</b> 、横展開が可能であるか。	必須
官民協働	<b>地方公共団体等および地域金融機関等との連携体制</b> が構築され、達成すべき目標や具体的な取組方針等が共有され、協働しているか。	必須
実効性	実効性の高い支援スキームを構築しているか。	必須
持続性	地方公共団体等の <b>総合計画</b> や地域金融機関等の <b>中期経営計画等</b> に位置付けられ、持続可能な支援スキームかどうか、また地域への継続的な波及効果が見込まれるか。	必須
透明性	取組の状況や成果を対外的に公表しているか。	必須
独自性	独創的な視点・斬新な支援スキームを構築しているか。	加点
成果	取組によって創出された、「成果（アウトプット）」、または目標が設定されているか。 ・支援取組（資金支援）により獲得した、融資件数・融資額。 ・支援取組（非資金支援）により実現した課題解決（内容・件数等）。	加点
影響	「成果（アウトプット）」によって創出された、地域の経済、社会、環境へ与えた／与える影響・変化（アウトカム）、または目標が設定されているか。	加点

- ① 応募用紙（所定のエクセル）
- ② 応募用紙の内容を1枚にまとめたスライド資料  
（書式自由のパワーポイント）

- 応募用紙の主な構成・記載内容は、以下の通りで、全2シートから構成
- 2ページ目では前頁の評価項目に対して、具体的な自己評価を記述してください
- 令和5年度応募用紙は赤字記載の各項目のポイント・要点を参考に記載ください

## 主な構成と記載内容

### 【P.1】 基本情報

(地方公共団体・地域金融機関とも代表者を記入)  
応募団体名、住所、担当、担当者名、メール、電話

### 【P.2】 支援取組 概要

### 評価項目 別の自己 評価記載

- ・取組のタイトル (45字)
- ・登録認証等制度かどうか (選択)
- ・支援取組の目的 (300字)
- ・支援取組の概要(1000字)
- ・各評価項目に対するコメント
  - 汎用性 (300字)
  - 官民協働 (300字)
  - 実効性 (300字)
  - 持続性 (300字)
  - 透明性 (300字)
  - 独自性 (300字)
  - 成果 (300字)
  - 影響 (300字)
- ・自由記述

第3回地方創生SDGs金融表彰 応募用紙(基本情報)

■基本情報①:地方公共団体等(代表)			
属性	地方公共団体等	代表/協働	代表
(フリガナ) 応募団体名	AAA社/AAA社 XXXXXXXXXXXX		
住所	〒XXXX-XXXX XXXXXXXXXXXX	〒XXXX-XXXX XXXXXXXXXXXX	XXXX
担当部署名	XXX課	担当者名	XX XX
Email	XXXX@mail.com	電話番号	XXX-XXX-XXXX
■基本情報②:地域金融機関等(代表)			
属性	地域金融機関等	代表/協働	代表
(フリガナ) 応募団体名	BB銀行		
住所	〒XXXX-XXXX XXXXXXXXXXXX	〒XXXX-XXXX XXXXXXXXXXXX	XXXX
担当部署名	XXX課	担当者名	XX XX
Email	XXXX@mail.com	電話番号	XXX-XXX-XXXX

※協働応募についても、同様に記載ください

第3回地方創生SDGs金融表彰 応募用紙(取組内容)

■応募する「自治体と金融機関が連携した、地域事業者(産後・産後間もない)への支援取組」の概要

タイトル (45字以内)  
45文字以内で記入ください。文字数超過の場合は入力できません。

■支援取組の概要(1000字以内)  
1000字以内で記入ください。文字数超過の場合は入力できません。

■支援取組の目的 (300字以内)  
300字以内で記入ください。文字数超過の場合は入力できません。

■支援取組の内容 (1000字以内)  
1000字以内で記入ください。文字数超過の場合は入力できません。

■取組の目的 (300字以内)  
300字以内で記入ください。文字数超過の場合は入力できません。

■取組の目的 (300字以内)  
300字以内で記入ください。文字数超過の場合は入力できません。

■取組の概要(1000字以内)  
1000字以内で記入ください。文字数超過の場合は入力できません。

■取組の目的 (300字以内)  
300字以内で記入ください。文字数超過の場合は入力できません。

■取組の概要(1000字以内)  
1000字以内で記入ください。文字数超過の場合は入力できません。

■取組の自己評価 (1000字以内)  
1000字以内で記入ください。文字数超過の場合は入力できません。

■汎用性 (300字)  
300字以内で記入ください。文字数超過の場合は入力できません。

■官民協働 (300字)  
300字以内で記入ください。文字数超過の場合は入力できません。

■実効性 (300字)  
300字以内で記入ください。文字数超過の場合は入力できません。

■持続性 (300字)  
300字以内で記入ください。文字数超過の場合は入力できません。

■透明性 (300字)  
300字以内で記入ください。文字数超過の場合は入力できません。

■独自性 (300字)  
300字以内で記入ください。文字数超過の場合は入力できません。

■成果 (300字)  
300字以内で記入ください。文字数超過の場合は入力できません。

■影響 (300字)  
300字以内で記入ください。文字数超過の場合は入力できません。

■自由記述 (300字)  
300字以内で記入ください。文字数超過の場合は入力できません。

➤ 応募時点で支援取組を通じた成果（アウトプット）や影響（アウトカム）が創出していなくても、「支援スキームの構築と連携支援」が実施できていれば、応募が可能

## 評価項目

## 記入のポイント

<p>■応募する「自治体と金融機関が連携した、地域事業者（直接・間接問わない）への支援取組」の概要</p> <p>タイトル (45字以内) (必須項目)</p> <p>■「登録認証等制度」に基づく支援取組か※選択必須、登録認証等制度に基づかない支援取組も応募可能です。</p>
<p>■支援取組の目的</p> <p>地域の目指す姿・在りたい姿について、また、その将来像の実現に向けた本(金融)支援取組の位置づけ(300字以内)</p> <p>(必須項目)以下の点について必ず記載ください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の目指す姿・在りたい姿(解決すべき優先地域課題【マテリアリティ】の特定)</li> <li>・それに向けた目標(達成を目指す地方創生×SDGsとの紐づけ、解決したい地域課題に関する目標)</li> <li>・目指す姿を実現するために、本支援取組(特に金融面からの支援)がどのような役割を果たすのか</li> </ul>
<p>■支援取組の内容 ※平易な表現で簡潔に記述願います。また、図表等の貼り付けはご遠慮ください。</p> <p>地方公共団体等/地域金融機関等との間における、連携/支援スキームや支援取組の内容(1000字以内)</p> <p>(必須項目)以下の点について必ず記載ください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方創生SDGs金融の実現に向けて、連名する応募団体間で行っている連携内容/構築している支援スキーム</li> <li>・連携内容/支援スキームにおいて、各応募団体が地域事業者支援における果たしている役割</li> <li>・連携内容/支援スキームを通じ、どのような「自律的好循環」を形成するか</li> <li>・どのように資金が循環し、再投資されアウトカム/インパクト創出を金融したスキームか【インテンションナリティ/ロジック等】</li> <li>・連携/支援を通じた今までの実績</li> </ul> <p>※選考の対象となるのは、応募時点で支援スキームが構築されているものに限りますが、「自律的好循環の形成」は時間がかかる取組であり、現時点では「資金の循環・再投資の『実態』」を明確に記述いただくことも可します</p> <p>※「地方創生SDGs金融」の推進、「自律的好循環」の形成は本事業の主たる目的やアウトカムであるため、必ず正確に記述をお願いします</p>
<p>■支援取組の自己評価</p> <p>a.汎用性(モデル性)(300字以内、以下項目も同様)</p> <p>(必須項目)以下の点について必ず記載ください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の事例、スキーム概要</li> <li>・上記事例、スキームが、他の地方公共団体等および地域金融機関等で参考事例となる観点</li> <li>・上記事例、スキームが、どのような観点で各地域への複製が可能であるか 等</li> </ul>
<p>b.官民協働</p> <p>(必須項目)以下の点について必ず記載ください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方公共団体等および地域金融機関等との連携体制の概要(協働態勢がある場合は、各団体について追記)</li> <li>・地方公共団体等および地域金融機関等との間で、どのように達成すべき目標や具体的な取組方針、計画等を共有し、協働しているか 等</li> </ul>
<p>c.実効性</p> <p>(必須項目)以下の点について必ず記載ください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援スキームの実効性担保に向け、各応募団体がどのような役割分担やプロセスで実施しているか</li> <li>・どのように目標や行動計画を定め、共有し、必要なリソースを確保しているか 等</li> </ul>
<p>d.持続性</p> <p>(必須項目)以下の点について必ず記載ください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続性を高める観点としてどのような方策や工夫を実施しているか</li> <li>・(例)地方公共団体等の総合計画や地域金融機関等の中期経営計画等においてどのように位置付けられているか</li> <li>・地域へどのような継続的な波及効果が見込まれるか支援取組であるか(二時的ではないか) 等</li> </ul>

### 支援取組の目的

### 支援取組の概要

### 各評価項目に対する自己評価 (1/2)

- 地域の目指す姿・在りたい姿
- それに向けた目標（達成を目指すSDGsとの紐づけ、解決したい地域課題に関する目標）
- 目指す姿を実現するために、本支援取組（特に金融面からの支援）がどのような役割を果たすのか
- 地方創生SDGs金融の実現に向けた連携内容/構築している支援スキーム
- 連携内容/支援スキームを通じ、どのような「自律的好循環」を形成するか 等
- 汎用性 – 取組が他の地方公共団体等および地域金融機関等で参考事例となる観点
- 官民協働 - 地方公共団体等および地域金融機関等との連携体制の概要
- 実効性 - 役割分担やプロセスを通じどのように支援スキームの実効性を担保しているか / 高めているか
- 持続性 - 地方公共団体等の総合計画や地域金融機関等の中期経営計画等においてどのように位置付けられているか、地域へどのような継続的な波及効果が見込まれるか

➤ 応募時点で成果や影響がなくても、「支援スキームの構築」ができていれば、応募いただけます。

## 評価項目

## 記入のポイント

<p>※透明性 ※記載頂いたURLは、地方創生SDGs金融の取組事例として内閣府HPIに公開させていただきます。※記載文字数が必要な可能</p> <p><b>〔必須項目〕</b>以下の点について必ず記載ください                  ・本(金融)支援取組の状況や成果などについて、ホームページ等で公表を行っているか                  (行っていない場合は、「該当なし」と記載ください)                  ・公表されている場合は、その当該URLなどの参照先をご記入のうえ、以下について公表されている範囲で内容を記載ください                  &gt; 支援取組の外+A32形的な情報(実施体制、問い合わせ先、など)                  &gt; 支援取組の成果や影響の内容に関する情報                  &gt; 支援取組の成果や影響の正確性を担保するための外部団体による評価、監査等の情報 等</p>
<p><b>〔独自性〕</b>以下の点について可能な範囲で記載ください                  ・支援取組における、<b>地域の特性や実情に応じた独創的な視点や斬新な発想</b> 等</p>
<p>※支援取組を通じた成果/期待する成果(成果がまだ出ていない場合)</p> <p><b>〔加点項目〕</b>以下の点について可能な範囲で記載ください                  ・実績がある方 - 本支援取組の実施状況とそれを通じた<b>成果【アウトプット】</b>                  &gt; 支援取組の実施回数や参加団体数                  &gt; 実施した支援取組の融資件数や融資金額 等                  &gt; これら取組まれる方 - 本支援取組により、どのような成果を企図しているか 等                  &gt; 実施予定回数や参加団体数見込み 等                  &gt; 融資件数や融資金額の見込み 等</p>
<p>※支援取組を通じた影響/期待する影響(影響がまだ出ていない場合)</p> <p><b>〔加点項目〕</b>以下の点について可能な範囲で記載ください                  ・実績がある方 - 本支援取組を通じ、地域の社会、環境、経済に対して与えた<b>影響【アウトカム】</b>                  &gt; 雇用創出やコミュニティの形成 等                  &gt; 環境資源(森林等)の変化、経済的な変化(新規創業者数増) 等                  ※自己評価・第三者評価は問いません                  &gt; これら取組む方 - 本支援取組により、地域へどのような影響を企図しているか 等                  &gt; 目標とする地域の社会、環境、経済の変化 等</p>
<p>■その他(※自由記述、400字以内)                  ・上記の他に、本支援取組について補足・追加したいことがあれば、ご記入ください。                  ・地方公共団体または地域金融機関等(以下参照)に該当しない属性が応募する場合は、申請団体が<b>どのような観点</b>で地方公共団体または地域金融機関とみなして応募したのか、について必ずこの欄に詳細説明を記入し、提出してください。                  (※記載がない場合、または不明な場合は、<b>選考対象とならない場合があります。</b>)                  &gt; 地方公共団体等: 都道府県・市区町村及び、自治体と連携している、外郭団体、第三セクターなどの団体                  &gt; 地域金融機関等: 地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫の他、都市銀行や信託銀行、保険会社やリース会社などの地方支店、そして農業協同組合などの金融機関</p>

各評価項目  
に対する  
自己評価  
(2/2)

成果  
(アウトプット)

影響  
(アウトカム)

- **透明性** - 本支援取組の状況や成果などについて、ホームページ等で公表を行い、全体の透明性を担保しているか
- **独自性** - 支援取組における、独創的な視点や斬新な発想

### 以下の点について可能な範囲で記載ください

- 本支援取組の実施状況とそれを通じた**成果 (アウトプット)**
    - 支援取組の実施回数や参加団体数
    - 実施した支援取組の融資件数や融資金額 等
- ※まだ実績がない場合は、企図している成果を記載

### 以下の点について可能な範囲で記載ください

- 本支援取組を通じ、地域の**社会、環境、経済**に対して与えた**影響 (アウトカム)**
  - 雇用創出やコミュニティの形成
  - 環境資源(森林等)の変化、経済的な変化(新規創業者数増) 等

※自己評価、第三者評価は問わない  
 ※まだ実績がない場合は、企図している影響を記載

**公募期間**

23年7月11日～  
23年8月25日

**1次選考**

23年9月中旬

**2次選考**

23年10月中旬

**表彰**

23年11月下旬

地方公共団体・金融機関等

公募開始

応募書類提出（連名応募）

1次選考【書面評価】

2次選考【プレゼンテーション評価】

地方創生担当大臣表彰  
表彰授与式

- 第3回地方創生SDGs金融表彰授与式は、以下概要（案）にて実施予定です。

## 第3回 地方創生SDGs金融表彰授与式 概要（案）

- (1) 主催：内閣府
- (2) 日時：2023年11月下旬
- (3) 場所：内閣府 8号館講堂（予定）
- (4) 参加者：  
内閣府特命担当大臣（地方創生）・表彰対象者等
- (5) 表彰式次第：
  - ✓ 内閣府特命担当大臣（地方創生）ご挨拶
  - ✓ 内閣府特命担当大臣（地方創生）表彰授与・記念撮影
  - ✓ 受賞者プレゼンテーション（連携支援取組に関する説明）
- (6) 取材対応： 有

# 本日のご説明事項

地方創生SDGs金融表彰の趣旨・目的

地方創生SDGs金融表彰の選考方法

**金融表彰の受賞取組事例紹介**

地方創生SDGs金融表彰のF A Q



団体名			概要
代表地域公共団体等	代表金融機関等	協働応募先	
神奈川県 横浜市	ヨコハマSDGs デザインセンター	神奈川銀行 かながわ信用金庫 川崎信用金庫 三井住友銀行 三菱UFJ 銀行 横浜銀行 横浜市信用保証協会 横浜信用金庫 公益財団法人横浜企業経 営支援財団、三井住友ファイナンス&リース 三井住友海上火災保険	横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"及び Y-SDGs金融タスクフォースの運用を通じた 自律的好循環の形成
静岡県 御前崎市	島田掛川 信用金庫	静岡県牧之原市 静岡県藤枝市 静岡県榛原郡川根本町 静岡県榛原郡吉田町	地元企業と学生を行政と金融機関が繋ぐ 「Uターン・地元就職応援プロジェクト」
鳥取県	山陰合同銀行	鳥取銀行	「知る」から「パートナーシップ」まで： リトルで利取る鳥取県版SDGsパッケージ支援
鳥取県 日南町	山陰合同銀行	-	SDGs・脱炭素で地域事業者のサステイナブル経営を 後押しするSDGs未来都市の挑戦
長野県	上田信用金庫	-	事業者に「気づき」を与え、共に持続可能な地域社会を 目指す融資商品「SDGs/ESGサポートローン」

## 横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”及び“Y-SDGs金融タスクフォース”の運用を通じた自律的好循環の形成

(代表地方公共団体等)  
神奈川県横浜市

(代表地域金融機関等)  
ヨコハマSDGs  
デザインセンター

(協働応募先) 神奈川銀行 かながわ信用金庫  
川崎信用金庫 三井住友銀行 三菱UFJ銀行 横浜銀行  
横浜市信用保証協会 横浜信用金庫 公益財団法人横  
浜企業経営支援財団 三井住友ファイナンス&リース  
三井住友海上火災保険

### 【概要】

- 事業者が認証制度を活用しSDGsに取り組むことで、持続可能な経営・運営への転換、新たな顧客や取引先の拡大、さらには、投資家や金融機関がESG投資等の投融資判断への活用につなげることを目指すもの。
- 地域内で活動する金融機関等を中心とした金融タスクフォースを組成。認証制度を活用した、試行融資、寄付付きリース商品開発、認証事業への経営サポートサービスを提供中。



左：Y-SDGsロゴ



右：Y-SDGs認証事業者

### 【委員評価点】

- 認定事業者が認証取得後も金融タスクフォース機関から経営サポート等の支援を受けられることで、更なる企業成長に貢献している。
- 金融タスクフォースを開催し、運用を通じて得られた地域課題解決事例や知見等を共有している。



上：金融タスクフォース

## 地元企業と学生を行政と金融機関が繋ぐ 「Uターン・地元就職応援プロジェクト」

(代表地方公共団体等)  
静岡県御前崎市

(代表地域金融機関等)  
島田掛川信用金庫

(協働応募先) 静岡県牧之原市  
静岡県藤枝市 静岡県榛原郡川根  
本町 静岡県榛原郡吉田町

### 【概要】

- 御前崎市・島田掛川信金が連携し、御前崎市に居住する高校3年生を対象に地元企業の魅力を発信し、将来地元で活躍する若者のリターン就職を促進する金融プロジェクト。
- 高校卒業後、御前崎市内に在住し、地元企業に就職した学生の保護者に対し、低利融資や助成金を支給する制度。
- 近隣4市（協働応募先）とも協働し、取組を拡大中。



### 【委員評価点】

- 地域経済の存続に関わる雇用問題に対して、官民連携して取り組んでいる稀有な事例である。
- 非常にユニークな仕組みで地域経済活性化への効果が期待できる。



上：地元企業の紹介サイト

## 「知る」から「パートナーシップ」まで： リトルで利取る鳥取県版SDGsパッケージ支援

(代表地方公共団体等)  
鳥取県

(代表地域金融機関等)  
山陰合同銀行

(協働応募先)  
鳥取銀行

### 【概要】

- 事業者のレベルに応じ、以下3つのパッケージを展開  
STEP 1 「知る」支援：とっとりSDGsパートナー制度（宣言・登録制度）、  
STEP 2 「実践」支援：とっとりSDGs企業認証制度《認証制度》、  
STEP 3 「パートナーシップ支援」：マッチング支援  
やとっとりSDGsビジネスアワード表彰



左：SDGsアワードロゴ



右：伝道師(山陰合同銀行)による講演

### 【委員評価点】

- 地域事業者のSDGs取組レベルに応じた支援制度を構築し、金融機関との協働を評価する。
- 地域金融機関2行が特色ある支援メニューを提供し、地域事業者の成長を支えている。



上：伝道師の任命

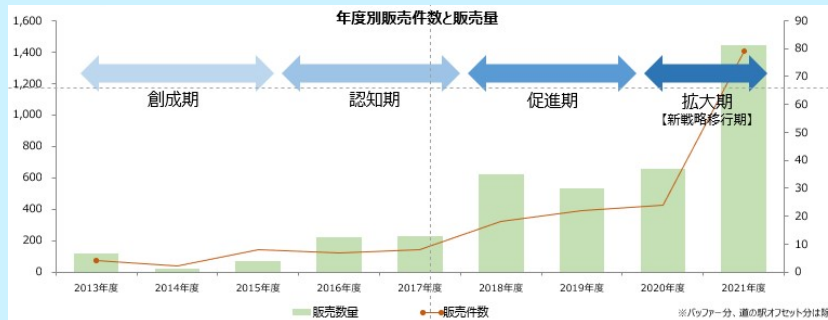
## SDGs・脱炭素で地域事業者の サステナブル経営を後押しするSDGs未来都市の挑戦

(代表地方公共団体等)  
鳥取県日南町

(代表地域金融機関等)  
山陰合同銀行

### 【概要】

- 日南町はFSC森林認証を受けている日南町有林で、間伐地を対象にクレジットを認証取得。クレジットの売上は林業振興・生態系保全に活用し持続可能な森林づくりに寄与。
- 山陰合同銀は日南町と事前に「Jクレジット地域コーディネーター契約」を締結。クレジットの成約まで地域事業者をサポートし、販売件数は年々増加している。



上：日南町有林J-クレジット販売実績

### 【委員評価点】

- Jクレジットを活用し、マネタイズに成功した実効性のある取組である。
- 自治体と金融機関の連携によるコーディネーター制度が機能し、成果(販売件数・販売量)が年々増加している点を特に評価する。



上：日南町公式HPにて購入者の取組を紹介

## 事業者「気づき」を与え、共に持続可能な地域社会を目指す 融資商品「SDGs/ESGサポートローン」

(代表地方公共団体等)  
長野県

(代表地域金融機関等)  
上田信用金庫

### 【概要】

- 長野県が2019年に全国に先駆けて創設した「登録」制度  
現在登録者数1,329者。SDGs達成に向けた「宣言」と取組のチェックリストの作成が必要
- 上田信金の「SDGs/ESGサポートローン」では事業者と金庫職員が協働でチェックリスト作成（事業性評価含む）
- 2021年12月時点で、24社、計10億円以上の融資実行。



左：上田信用金庫地域事業者向け広報誌「中小企業景気動向レポート」にて、利用事業者の紹介を行っている。

### 【委員評価点】

- 長野県の登録制度と上田信金の独自金融支援が協働した「地方創生SDGs金融」のモデル事例である。
- 長野県が作成したチェックリストを上田信金が事業性評価に有効活用し、地域事業者に対するインセンティブに寄与する点も評価できる。



上：NAGANO SDGs BUSINESS POTALで認証企業を掲載、

団体名			連携支援プロジェクト名
代表地方 公共団体等	代表地域 金融機関等	協働応募団体	
福岡県北九州市	北九州SDGsクラブ 「SDGs経営 サポート」	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社北九州銀行、住友生命保険相互会社、損害保険ジャパン株式会社、第一生命保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、株式会社西日本シティ銀行、株式会社日本政策金融公庫、日本生命保険相互会社、株式会社広島銀行、株式会社福岡銀行、福岡ひびき信用金庫、三井住友海上火災保険株式会社、株式会社三井住友銀行、三井住友信託銀行株式会社、三井住友ファイナンス&リース株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、明治安田生命保険相互会社、アクサ生命保険株式会社	市と金融機関の協定に基づく、「稼げるまち」に向けた自律的好循環の形成
石川県七尾市	のと共栄信用金庫	株式会社日本政策金融公庫金沢支店、東京海上日動火災保険株式会社、七尾商工会議所、能登鹿北商工会	創業支援と社会・地域課題解決型企業の経営支援による 地方創生SDGs金融の取組み
千葉県	株式会社千葉銀行	ちばSDGs推進ネットワーク、株式会社京葉銀行、株式会社千葉興業銀行、千葉県信用保証協会、千葉県商工会議所連合会、千葉県経済同友会、千葉県経営者協会、千葉県経済協議会、千葉県商工会連合会、千葉県中小企業団体中央会、千葉県中小企業家同友会	「ちばSDGs推進ネットワーク」を生かした官民連携による地方創生の取組み
静岡県	静岡県SDGs×ESG金融 連絡協議会	株式会社静岡銀行、スルガ銀行株式会社、株式会社清水銀行、株式会社静岡中央銀行、しずおか焼津信用金庫、静岡信用金庫、浜松いわた信用金庫、沼津信用金庫、三島信用金庫、富士宮信用金庫、島田掛川信用金庫、富士信用金庫、遠州信用金庫	環境ビジネスをテーマとするアワード型事業成長支援プログラム： 静岡県SDGsビジネスアワード
佐賀県鹿島市	株式会社佐賀銀行	さぎんコネクト株式会社	干潟を起点に環境と産業の調和を目指す ～“シンボル”ドリブン型好循環の形成～

## 市と金融機関の協定に基づく、「稼げるまち」に向けた 自律的好循環の形成

(代表地方公共団体等)  
福岡県北九州市

(代表地域金融機関等)  
北九州SDGsクラブ  
「SDGs経営  
サポート」

(協働応募先) あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社北九州銀行、住友生命保険相互会社、損害保険ジャパン株式会社、第一生命保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、株式会社西日本シティ銀行、株式会社日本政策金融公庫、日本生命保険相互会社、株式会社広島銀行、株式会社福岡銀行、福岡ひびき信用金庫、三井住友海上火災保険株式会社、株式会社三井住友銀行、三井住友信託銀行株式会社、三井住友ファイナンス&リース株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、明治安田生命保険相互会社、アクサ生命保険株式会社

### 【概要】

- 官民連携プラットフォーム「北九州SDGsクラブ」における連携を推進・金融機関による経営サポートを実施
- SDGs登録制度で「経済・社会・環境」の具体的な取組や数値目標の明示を求め、SDGsのゴール・ターゲットや市のSDGs未来都市計画と紐づけ
- 今年度はリーディング企業の創出に向けSDG-Xリーディングプロジェクト補助金を創設、SX・DX・GXの統合的かつ先進的な取組を市が財政支援し企業の成長と社会課題解決の同時実現を図る



「北九州SDGs登録制度」第1次登録証交付式の様子

### 【委員評価点】

- 本制度のコンセプトに強く合致したモデル。
- 中小企業を強くすることで「稼げる」地域経済モデルを作り出そうとする姿勢が明快。
- SDGsクラブからスタートして登録制度・リーディング企業の創出へとステップアップしており、近隣の県域にも広がりを見せるなど完成度・実効性共に高い。



「SDGsクラブ」の様子（会員数：約2,000）



## 創業支援と社会・地域課題解決型企業の経営支援による 地方創生SDGs金融の取組み

(代表地方公共団体等)  
石川県七尾市

(代表地域金融機関等)  
のと共栄信用金庫

(協働応募先)  
株式会社日本政策金融公庫金沢支店、  
東京海上日動火災保険株式会社、七尾商工会議所、能登鹿北商工会

### 【概要】

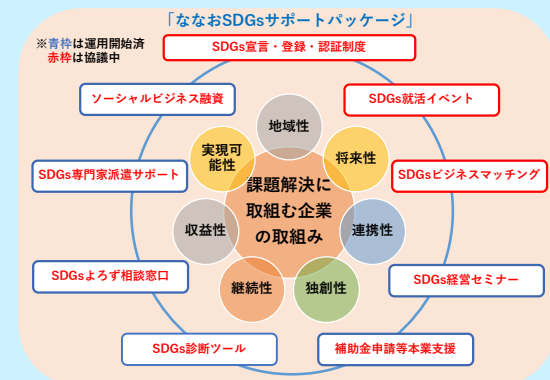
- 9つの組織による産学官金民連携「ななおSDGsスイッチ」を通じ、SDGs全体の普及啓発と推進する企業の支援を実施
- 地域課題解決に資する事業や事業者のSDGs経営を支援するための経営支援として、SDGs診断ツールによる取組状況の診断、専門家派遣を通じた手厚い相談支援、資金が必要な場合には専用の事業性融資商品での支援を実施
- 支援実績として、これまでに創業支援件数104件、創業支援に係る単独融資39件、創業支援に係る協調融資26件、SDGs相談件数44件、SDGs診断7件、SDGs推進に係る融資12件、能登SDGs市民大学の開講2回、SDGsセミナー2回を実施



「能登SDGs市民大学」の様子

### 【委員評価点】

- 自治体と金融機関が連携してプラットフォームを活用している好事例。インパクトの視点も備えており、高く評価できる。
- 適切な座組が組みれたうえで、参画団体の連携により構築されている。



「ななおSDGsサポートパッケージ」のイメージ

## 「ちばSDGs推進ネットワーク」を生かした 官民連携による地方創生の取組み

(代表地方公共団体等)  
千葉県

(代表地域金融機関等)  
株式会社千葉銀行

(協働応募先)

ちばSDGs推進ネットワーク、株式会社京葉銀行、株式会社千葉興業銀行、  
千葉県信用保証協会、千葉県商工会議所連合会、千葉県経済同友会、  
千葉県経営者協会、千葉県経済協議会、千葉県商工会連合会、  
千葉県中小企業団体中央会、千葉県中小企業家同友会

### 【概要】

- 令和3年11月に「ちばSDGsパートナー登録制度」を創設し、同時に地域金融機関及び各経済団体等と県の計12企業・団体でSDGsの普及啓発及びSDGsに取り組む企業等への支援を目的とする「ちばSDGs推進ネットワーク」を発足
- 登録件数は申請受付開始から9ヶ月で約1,400件に達し、登録企業に対する金融面での支援の充実（信用保証協会がSDGsに取り組む企業に対し保証料を割引き、パートナー登録中小企業に対する低利の資金メニュー創設、等）も進展
- 今後は地域金融機関三行のサステナブルファイナンスによる融資実績を現行の8,654億円から2030年までに3兆2千億円まで引き上げることも含め、自律的好循環の形成に取り組み



ちばSDGs推進ネットワーク発足式の様子

### 【委員評価点】

- 自治体と金融機関が連携して大きなムーブメントを生み出している。今後のポテンシャルも大きく、自律的好循環への展開が期待できる。
- 県庁と地銀の強力な連携のもと県下の多くの事業者が参加するネットワークが作られていること、金融面・非金融面の支援があり波及効果も生み出されていること、持続性も高いことが評価できる。



パートナー制度募集資料

## 環境ビジネスをテーマとするアワード型事業成長支援プログラム： 静岡県SDGsビジネスアワード

(代表地方公共団体等)  
静岡県

(代表地域金融機関等)  
静岡県SDGs×  
ESG金融  
連絡協議会

(協働応募先)  
株式会社静岡銀行、スルガ銀行株式会社、株式会社清水銀行、株式会社  
静岡中央銀行、しずおか焼津信用金庫、静岡信用金庫、浜松いわた信用金庫、  
沼津信用金庫、三島信用金庫、富士宮信用金庫、島田掛川信用金庫、  
富士信用金庫、遠州信用金庫

### 【概要】

- 令和元年に金融機関14行、経済団体4団体、行政を構成員とする静岡県SDGs×ESG金融連絡協議会を発足
- 令和3年度から静岡県が主催で環境ビジネスプランを育成、表彰する「SDGsビジネスアワード」を同協議会と連携し開催
- 静岡県をフィールドとして環境課題の解決に繋がるビジネスプランを県内外から募集し、課題解決への貢献度や革新性等の視点から優良プランを選定、選定されたプランには経営やマーケティング等の専門家がメンターとなり伴走支援を約3ヶ月間行い、県内金融機関や経済団体等も参画しながらESG関連融資制度の活用等必要な支援に繋げていく



R4アワードキックオフミーティングの様子

### 【委員評価点】

- 静岡県と多数の地域金融機関を中心に、経済団体やSDGs関連企業も参画。当アワードを起点に県との官民連携の体制を構築できている。
- アワード後も受賞企業に対して環境貢献型ビジネス支援やSDGs・ESG融資など一体感を持った支援スキームである。また多様なメンターの起用も参考となる。



アワードイメージ

## 干潟を起点に環境と産業の調和を目指す ～“シンボル”ドリブン型好循環の形成～

(代表地方公共団体等)  
佐賀県鹿島市

(代表地域金融機関等)  
株式会社佐賀銀行

(協働応募先)  
さぎんコネクト株式会社

### 【概要】

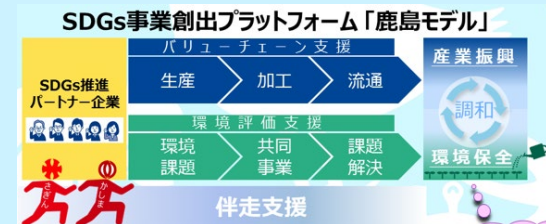
- 「有明海的环境保全に寄与すること」を条件に、SDGsに取り組む企業・団体を鹿島市が登録・認証する「肥前鹿島干潟SDGsパートナー制度」を運用（80事業者が登録）
- パートナー認証企業に対して地域金融機関は経営支援を実施し、資金調達に加えSDGsを事業の取組みに活かすアドバイスや、ビジネスマッチングなど経営全般のサポートを実施
- パートナー企業に対し、鹿島市の環境課題を解決するための事業案を公募、5つの課題に対して事業を実施し、そのうちの「荒廃園における放牧牛の販売」においては金融機関のサポートを通じ自律的循環を実現



「肥前鹿島干潟SDGsパートナー制度」のイメージ

### 【委員評価点】

- 干潟保全というシンボルで地域企業を幅広く巻き込めるパートナー制度を構築している。事例も域内の所得循環に直結するグッドプラクティスであり、今後の広がりが期待される。
- 干潟をシンボルとしてSDGsを起点に、事業化支援につなげていく仕組みづくりが評価できる。他の金融機関への横展開など持続性や発展性も期待できる。



「鹿島モデル」のイメージ

# 本日のご説明事項

地方創生SDGs金融表彰の趣旨・目的

地方創生SDGs金融表彰の選考方法

金融表彰の受賞取組事例紹介

**地方創生SDGs金融表彰のFAQ**

# ■ 地方創生SDGs金融表彰のFAQ

➤ FAQより、主だった項目を抜粋、列挙します。FAQと合わせて参照ください。

1. 地方公共団体等、地域金融機関等とありますが、具体的に教えて下さい。
2. 応募するには、登録認証等制度の構築は必ず必要ですか。
3. 応募するには、支援スキームの構築だけでなく、成果や影響も必要ですか。
4. 複数案件の応募、また同一団体からの応募上限はありますか。
5. 過去の金融表彰の応募取組の再応募は可能ですか。
6. 応募した取組内容は公表されますか。

## 1. 地方公共団体等、地域金融機関等とありますが、具体的に教えて下さい。

地方公共団体等とは都道府県・市区町村及び、自治体と連携している、外郭団体、第三セクターなどの団体を指します。

地域金融機関等とは、地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫の他、都市銀行や信託銀行、保険会社やリース会社などの地方支店、そして農業協同組合などの金融機関を指します。

上記に記載のない属性が応募する場合は、申請団体がどのような観点で地方公共団体等または地域金融機関等とみなして応募したのかについて、応募用紙の「その他」欄に必ず詳細説明を記入し、提出してください。

※記載がない場合、または不明な場合は、選考対象とならない場合があります。

## 2. 応募するには、登録認証等制度の構築は必ず必要ですか。

必ずしも、必要ではありません。

地方創生SDGs金融の取組には、SDGsの達成や地域課題の解決に資する支援等の策定、実施が前提となります。

地方創生SDGs金融を通じた自律的好循環に資するスキームの構築と、支援の実施でご応募いただけます。（自治体・金融機関の連名要件）

## 3. 応募するには支援スキームの構築だけでなく、成果や影響も必要ですか。

成果（アウトプット）や影響（アウトカム）は加点項目であり、必須項目ではありません。ただし、応募時点で成果や影響を創出していなくても、応募スキームを通じた未来の成果や影響の創出に向けたロジック等を記載いただければ、内容に応じて加点対象とします。

## 4. 複数案件の応募、また同一団体からの応募上限はありますか。

複数案件での応募は可能です。

ただし、**支援スキーム単位での応募**となりますので、**重複している場合は、選考対象外**となります。応募いただく前に、各代表自治体・代表金融機関で重複がないか確認の上、ご応募をお願いします。このとき、申請時の確認ややり取りの観点で、「**代表自治体・金融機関**」は**必ず1団体**に決定をしたうえで申請ください。

また、実効性のある取組を1つでも多く全国へ普及展開したいと考えていますので、**1団体1件までといった制限はいたしません。**

## 5. 第1回・第2回金融表彰の応募取組の再応募は可能ですか。

過去、応募いただいた取組についても、再応募は可能です。

ただし、過去、受賞された支援取組・支援スキームについては、応募対象外とします。

（また再応募の際は、成果・影響等の時点や観点も更新の上、応募ください。）



## 6. 応募した取組内容は公表されますか。

応募いただいた内容は取組概要として一覧化し、内閣府ホームページへの掲載します。

- ・『地方創生SDGs金融表彰』 応募・受賞取組一覧／公表資料

[https://www.chisou.go.jp/tiiki/kankyo/sdgs\\_financeaward2021.html](https://www.chisou.go.jp/tiiki/kankyo/sdgs_financeaward2021.html)

[https://www.chisou.go.jp/tiiki/kankyo/sdgs\\_financeaward2022.html](https://www.chisou.go.jp/tiiki/kankyo/sdgs_financeaward2022.html)

- ・地方創生SDGs登録・認証等制度等ガイドライン

[https://www.chisou.go.jp/tiiki/kankyo/kaigi/pdf/sdgs\\_finance\\_guideline.pdf](https://www.chisou.go.jp/tiiki/kankyo/kaigi/pdf/sdgs_finance_guideline.pdf)

- ・登録認証等制度構築済み団体一覧

[https://www.chisou.go.jp/tiiki/kankyo/kaigi/pdf/toroku-ninsho\\_list230531.pdf](https://www.chisou.go.jp/tiiki/kankyo/kaigi/pdf/toroku-ninsho_list230531.pdf)

# ■ 本年度の問い合わせ窓口

【問い合わせ窓口】

第3回「地方創生SDGs金融表彰」事務局（A.T. カーニー株式会社）

Eメール：[LocalSDGsFinance@kearney.com](mailto:LocalSDGsFinance@kearney.com)

※所属組織名、担当者名、電話番号、メールアドレスを明記の上、お問合せください。